

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	148	1,363	0
事業費計		(千円)	0	148	1,363	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.23	0.10		
		時間外勤務 (時間)	10.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,661	706		
事業コスト		(千円)	1,661	854		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 環境審議会委員報酬 8,000円×15人×9回=1,080千円 費用弁償 2,000円×15人×9回=270千円 食糧費 13千円
-------------	---

予算の方向性	理由	次年度は環境基本計画及びきれいなまちづくり行動計画の改定について審議するため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	260	422	206	0
事業費計		(千円)	260	422	206	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.23	0.10		
		時間外勤務 (時間)	15.00	14.95		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,673	744		
事業コスト		(千円)	1,933	1,166		

R01年度当初積算根拠	・環境白書作成支援業務委託 $190,000円 \times 1.08 = 205,200円$					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	31	69	7,915	0
事業費計		(千円)	31	69	7,915	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.46	1.00		
		時間外勤務 (時間)	50.00	90.25		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	3,397	7,281		
事業コスト		(千円)	3,428	7,350		

R01年度当初積算根拠	・普通旅費	環境省協議 1,230円×2×2人×5回	25千円
	・需用費	消耗品費 26千円	
	・委託料	環境基本計画冊子100部×2,200円+概要版5,000部×34.6円×1.1	433千円
		環境基本計画改定支援業務	7,430,400円
		うち前年度繰越額	2,220,000円
		うち継続費2年目分	5,210,400円
			7,431千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報									
事務事業名	617 IS014001認証維持事業								
戦略プラン					担当部課 係名	生活環境部環境政策課 計画管理係			
総合戦略					新規・継続	継続			
					事業分類	任意的事務			
予算科目	01-040107-13 つくば市環境改善に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解			
要求区分		事業期間				<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画						<input type="checkbox"/> 実行			
根拠法令					事業体制	一部委託			
					市長公約				
概要									
事業の目的				事業の概要					
つくば市役所が市内事業所の一つとして「つくば市環境管理システム」を構築し、率先して環境保全活動及び事務事業に係る環境負荷を低減させることにより模範を示し、環境問題への取組を普及させる。				<ul style="list-style-type: none"> 環境管理システムの職員研修の実施、内部環境監査実施、外部審査による認証維持、環境管理委員会を開催し目的 目標の進捗確認を行う。 					
評価									
事業計画				活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 各種研修・内部監査・マネジメントレビュー・環境管理委員会等を実施し、外部審査（更新審査）を受審してIS014001の認証を維持する。 				4月 IS014001推進責任者研修の実施 6月 第1回環境管理委員会 環境管理責任者、環境管理委員研修 10月 外部更新審査 12月 第2回環境管理委員会 1～2月 内部環境監査					
成果				課題					
外部審査（更新審査）を受審した結果、「向上」の評価を受けた。なお、環境に関する重大な法令違反等は発生しなかった。				IS014001は2015年に国際規格が変更となり、IS09001の視点に強く影響された国際規格となった。つくば市では、行政評価等でIS09001の視点を取り入れた事業評価を行っていることから、進行管理の重複があり、負担となっている。					
改善目標（R01年度にむけて）									
IS014001の認証を維持することによる社会的メリットや効果について見直しを考慮し、認証の継続を検討する。									
指標の推移									
1	指標名	環境法令の逸脱					(件)		活動指標
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	指標の概要	つくば市役所でIS014001で管理の対象となっている環境法令について、逸脱がないようにする。							
2	指標名						()		
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,917	3,115	2,400	0
事業費計		(千円)	1,917	3,115	2,400	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	0.20		
		時間外勤務 (時間)	17.00	28.90		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	5,018	1,484		
事業コスト		(千円)	6,935	4,599		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・普通旅費 講習会受講 1,266円×2×1人×2回 環境省説明会 1,266円×2×1人×1回 計8千円 ・需用費 事務用消耗品 3千円 図書 8千円 ・委託料 IS014001認証維持支援業務委託料 1,826千円 IS014001定期審査委託料 487千円 ・負担金補助及び交付金 講習会受講料 53千円 グリーン購入ネットワーク負担金 15千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	2	今後は減少すると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	42,050	13,100	0
	一般財源	(千円)	0	-3,220	0	0
事業費計		(千円)	0	38,830	13,100	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.75		
		時間外勤務 (時間)	0.00	115.00		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	5,579		
事業コスト		(千円)	0	44,409		

R01年度当初積算根拠	クリーンエネルギー機器補助金：11,800千円 クリーンエネルギー自動車補助金：1,300千円					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	基金の減少により補助対象機器及び金額を精査した。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和1年度 (当初)	令和2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	995	0
	一般財源	(千円)	0	2,189	5,101	0
事業費計		(千円)	0	2,189	6,096	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.25		
		時間外勤務 (時間)	0.00	11.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	1,793		
事業コスト		(千円)	0	3,982		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 電気料 37千円 CO2測定器修繕料 83千円 施設修繕料 1,744千円 上菅間発電施設遠隔監視システム通信利用料 83千円 損害保険料 31千円 施設管理委託料 822千円 CO2測定器保守点検業務委託料 198千円 風力発電跡地除草業務委託料 522千円 見学会バス賃借料 139千円 桜中学校小型風力発電機撤去工事 2,387千円 エネルギーパーク協議会負担金 50千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	620 つくば環境スタイルサポーターズ事業									
戦略プラン	III	2	1	環境意識の啓発	担当部課 係名	生活環境部環境政策課 推進係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-040107-14 地球温暖化対策に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分		事業期間								
個別計画	つくば環境スタイル“SMILe（つくば市環境モデル都市行動計画）									
根拠法令					事業体制	職員のみ				
					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>環境に関するイベントの実施等の啓発活動を行うことにより、つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心とした市民の環境意識の向上を図るため。</p>					<p>・つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心に、ニュースレターやSNS等で市の環境関連情報の提供や環境に関するイベントを実施し、市民の環境意識高揚を図る。 （提供する事業：筑波山自然環境教育事業、グリーンカーテンキャンペーン、エコ通勤、小野川・桜川探検隊、エコクッキング等）</p>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> サポーターズ会員の加入促進 サポーターズニュース発行 各種プログラム開催（エコプロ見学会、グリーンカーテンキャンペーン） 					<ul style="list-style-type: none"> イベント開催時のサポーターズ会員加入促進 5月12日 つくばフェスティバル 8月25日、26日 まつりつくば 4、6、10、1月 サポーターズニュース発行 9月 グリーンカーテンコンテスト サポーターズ新規加入者 230名 サポーターズ会員数 9,192名 					
成果					課題					
<p>環境関連事業を実施できたことで市民の環境意識向上を図ることができた。</p>					<p>サポーターの数を活用した環境に関連する市の施策などについて検討する。</p>					
改善目標（R01年度にむけて）										
サポーターとしての意識をもって行動できる人材となれるよう活用方法について検討する。										
指標の推移										
1	指標名	サポーターズ会員数（個人会員）					（ 人 ）		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	9,000.0	9,500.0	10,000.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	9,192.0	0.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名						（ ）			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	4,061	3,950	0
事業費計		(千円)	0	4,061	3,950	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.75		
		時間外勤務 (時間)	0.00	117.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	5,584		
事業コスト		(千円)	0	9,645		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費 2,173千円 ・印刷製本費 323千円 ・郵便料 878千円 ・サポーターズポイントライセンス使用料 111千円 ・エコプロ見学会バス借り上げ料 117千円 ・エコポイントカードシステム機器賃借料 184千円 					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	621 EV等普及促進事業									
戦略プラン	III	1	1	低炭素化の推進			担当部課 係名	生活環境部環境政策課 推進係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	01-040107-14 地球温暖化対策に要する経費									
要求区分		事業期間					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	つくば環境スタイル“SMILe（つくば市環境モデル都市行動計画）									
根拠法令							事業体制	職員のみ		
							市長公約			
概要										
事業の目的					事業の概要					
市域における低炭素化を目的として、EV等の普及促進を図る。					<ul style="list-style-type: none"> 市内3か所の急速充電器の適切な管理を行い、市域におけるEVの利便性の向上を図る。 超小型モビリティ（小型EV）の普及促進を図る。 					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> 市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）の急速充電器の継続的な維持管理を実施する。 					<ul style="list-style-type: none"> 市内3箇所（つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター）の急速充電器の継続的な維持管理を実施した。 急速充電器の利用件数は、5,785件であった。 急速充電器の設置箇所をホームページで広報し、利用の推進を図った。 					
成果					課題					
急速充電器の円滑な利用を維持したことで、低炭素車(EV)使用者に利便性を提供できた。					今後、EVの普及が進むと考えられるため、公用車のEV化推進など推進に関する事項について検討する必要がある。					
改善目標（R01年度にむけて）										
公用車のEV化について関係部局との協議を進めていく。										
指標の推移										
1	指標名	急速充電器利用件数					(件)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	3,600.0	3,700.0	3,800.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	5,785.0	0.0	0.0		
	指標の概要	市内3箇所(つくば市役所、筑波交流センター、荃崎交流センター)における急速充電器の利用件数								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	2,674	2,674	0
事業費計		(千円)	0	2,674	2,674	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.25		
		時間外勤務 (時間)	0.00	5.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	1,779		
事業コスト		(千円)	0	4,453		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 急速充電器電気料 1,845千円 コムス修繕料 60千円 急速充電器修繕料 110千円 検査手数料 36千円 タイヤ交換手数料 13千円 火災保険料 12千円 急速充電器保守点検委託料 479千円 急速充電器運用事務委託料 733千円
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	14,850	15,000	0
	一般財源	(千円)	0	76	747	0
事業費計		(千円)	0	14,926	15,747	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.75		
		時間外勤務 (時間)	0.00	48.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	5,413		
事業コスト		(千円)	0	20,339		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物代 3千円 ・低炭素街区認定検討委員派遣手数料 44千円 ・低炭素ガイドラインに基づく認定補助金 15,700千円 					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	1 事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	794	94,778	0
事業費計		(千円)	0	794	94,778	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	1.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	363.75		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	11,489		
事業コスト		(千円)	0	12,283		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 普通旅費 37千円 省エネ改修先進自治体訪問 (川崎市) 2,964円×2人×2回 補助金執行団体訪問 (神田) 2,262円×2人×5回 地球温暖化対策実行計画説明会 (茅場町) 2,448円×1人×1回 需用費 消耗品費 179千円 委託料 31-35大穂庁舎及び谷田部交流センター等ESCO事業業務委託 94,562千円
-------------	---

予算の方向性	理由	地球温暖化対策実行計画の実行及び目標達成に向けて今後省エネ改修をする必要があるため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	803	3,230	0
事業費計		(千円)	0	803	3,230	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	0.00	37.05		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	7,149		
事業コスト		(千円)	0	7,952		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・報償費 講師謝礼 12,000円×(2人+4人)×1回 72千円 策定懇話会委員謝礼 12,000円×9人×7回 756千円 策定ワーキンググループ委員謝礼 12,000円×5人×8回 480千円 進捗管理懇話会委員謝礼 12,000円×3人×3回 108千円 ・旅費 普通旅費 60千円 計画書制度先進自治体訪問(横浜市) 3,362円×2人×1回 策定懇話会等委員旅費 3,260円×1人×14回 環境モデル都市フォローアップ(永田町) 2,532円×4人×1回 特別旅費 128千円 E-KIZUNAサミット(新潟市) 33,608円×2人 ・需用費 食糧費17千円、印刷製本費433千円 ・委託料 温室効果ガス排出量推計業務委託 1,056千円、 低炭素車台数データ集計業務委託 120千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	3 法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について	
優先度	- 法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	72	61	0
事業費計		(千円)	0	72	61	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.10		
		時間外勤務 (時間)	0.00	31.75		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	785		
事業コスト		(千円)	0	857		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・特別旅費 61千円 ・分散型エネルギー先進自治体訪問 (浜松市) (18,042円+12,000円) × 2人=60,084 					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,980	4,480	2,595	0
事業費計		(千円)	3,980	4,480	2,595	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.46	0.75		
		時間外勤務 (時間)	100.00	142.25		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	3,523	5,646		
事業コスト		(千円)	7,503	10,126		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・環境ポスター入賞者賞品 15千円 ・筑波山環境教育事業 筑波山ケーブルカー、ロープウェイ代 24千円 ・消耗品費 614千円 ・印刷製本費 336千円 ・傷害保険料 16千円 ・筑波山自然教育事業委託料 928千円 ・バス運転業務委託料 12千円 ・筑波山自然環境教育バス賃借料 437千円 ・水産多面的機能発揮対策事業 213千円
-------------	---

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3 今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	15	76	75	0
事業費計		(千円)	15	76	75	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.23	0.30		
		時間外勤務 (時間)	50.00	82.50		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,762	2,323		
事業コスト		(千円)	1,777	2,399		

R01年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> 講師謝礼 48千円 筑波山ケーブルカー、ロープウェイ代 12千円 傷害保険料 15千円 					
-------------	---	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	628 つくば環境フェスティバル事業									
戦略プラン					担当部課	生活環境部環境政策課				
総合戦略					係名	推進係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-040107-15 つくば環境フェスティバル開催に要す				事業分類	任意的事務				
要求区分		事業期間			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画						事業体制	一部委託			
根拠法令					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
市民団体、研究機関、行政等が公開する様々な環境に関する活動を、来場者に楽しみながら学んでもらうことで、環境に配慮したライフスタイルの大切さを再認識してもらい、自ら行動する意欲を高めるため。					・フェスティバルの企画立案及び運営					
評価										
事業計画					活動実績					
・つくばサイエンスコロバ2018(つくば環境フェスティバル)の開催 開催予定日：11月10日、11日					8月10日 出展希望者取りまとめ 24団体 9月14日 広報つくば11月号 掲載依頼 9月19日 出展者説明会案内通知発送 11月10日、11日 つくばサイエンスコロバ実施 (来場者数計15,000人)					
成果					課題					
来場した市民に対して、楽しみながら「科学」と「環境」に係る興味や関心を高めることができた。					出展団体について開催内容の充実を図るため、新規出展団体を増やす方法について検討が必要である。 また、来場者を増加させるための企画等の検討も必要である。					
改善目標（R01年度にむけて）										
新規出展団体及び来場者の増加を目指し、企画内容等の充実を図る。										
指標の推移										
1	指標名	来場者数					(人)		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	15,000.0	0.0	0.0		
	指標の概要	つくばサイエンスコロバ(つくば環境フェスティバル)の来場者数								
2	指標名						()			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	()						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成29年度 (決算)	平成30年度 (決算)	令和 1年度 (当初)	令和 2年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,078	2,848	3,531	0
事業費計		(千円)	3,078	2,848	3,531	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.25	0.25		
		時間外勤務 (時間)	60.00	142.25		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,929	2,118		
事業コスト		(千円)	5,007	4,966		

- R01年度当初積算根拠
- ・消耗品費 342千円
 - ・印刷製本費 403千円
 - ・傷害保険料 40千円
 - ・会場設営業務委託料 2,200千円
 - ・駐車場使用料 139千円
 - ・ミニSL賃借料 407千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		